

MDJ ファイナル・レポート
interpack 2026 + components 2026
国際加工・包装産業展 + 国際加工・包装部品展



2026 年 5 月 13 日

加工・包装業界にグローバルなシグナルを発信

interpack 2026 は、世界の加工・包装業界に大きな存在感を示すメッセとなりました。今回も、加工・包装業界における世界的な交流の場となり、技術・素材・プロセスの分野で、変革がすでに具体的に実行段階へ入っていることを印象的に示しました。

interpack 2026 では、包装業界がこれまで以上に「つながり」「革新性」「対話」を重視する業界へ進化していることが強く印象づけられました。展示ホールには多くの来場者が訪れ、活発な商談や議論が行われ、国際色豊かな雰囲気になりました。各企業は未来に向けたソリューションを積極的に提案し、アイデアの共有や検証、さらには具体的な意思決定までがその場で進められました。加工・包装業界のバリューチェーン全体が、リアルに体感できるメッセとなりました。

5 月 7 日から 13 日にかけて、65 か国から 2,804 社が出展し、161 か国から業界関係者がデュッセルドルフ見本市会場に集結しました。来場者の 75% はドイツ国外からで、そのうち 28% は欧州外からの参加でした。さらに、同時開催された国際加工・包装部品展「components 2026」には約 100 社が参加、出展者数は過去最大規模となり、会場で誰もが感じていたこと、つまり「特別なインパクトを持つメッセ」であることを裏付けました。

「interpack 2026 は大成功裡に終了しました。会場の熱気、活発な交流、そして具体的なプロジェクトの数々が、このグローバルコミュニティの強さを証明しました。interpack が世界の加工・包装業界における最重要メッセであることを、改めて示す機会になりました」と振り返るのは、メッセ・デュッセルドルフで interpack を統括する T・ドーゼです。

7 日間にわたり、実践的なソリューションやパートナーシップ構築が大きなテーマとなり、多くの商談がプロジェクトや投資判断へとつながりました。食品業界や製薬業界からの強い来場に加え、有力かつ革新的なサプライヤーが高い密度で集まったことで、世界の加工・包装業界におけ



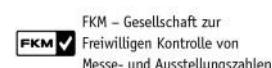
Messe Düsseldorf GmbH
Postfach 10 10 06
40001 Düsseldorf
Messeplatz
40474 Düsseldorf
Deutschland

Telefon +49 211 4560 01
Telefax +49 211 4560 668
Internet www.messe-duesseldorf.de
E-Mail info@messe-duesseldorf.de

Geschäftsführung:
Wolfram N. Diener (Vorsitzender)
Bernhard J. Stempfle
Erhard Wienkamp
Vorsitzender des Aufsichtsrats:
Dr. Stephan Keller

Amtsgericht Düsseldorf HRB 63
USt-IdNr. DE 119 360 948
St.Nr. 105/5830/0663

Mitgliedschaften der
Messe Düsseldorf:



Öffentliche Verkehrsmittel:
U78, U79: Messe Ost/Stockumer Kirchstr.
Bus 722: Messe-Center Verwaltung

るリーディングプラットフォームとしての役割を改めて示しました。

市場成長と変革への対応

interpack 2026 は、業界全体が大きな転換期を迎える中で開催されました。包装製品の需要は増加を続ける一方、素材、生産システム、供給体制に求められる条件は大きく変化しています。中でも注目を集めたのが、**欧州包装・包装廃棄物規則（PPWR）**です。これは

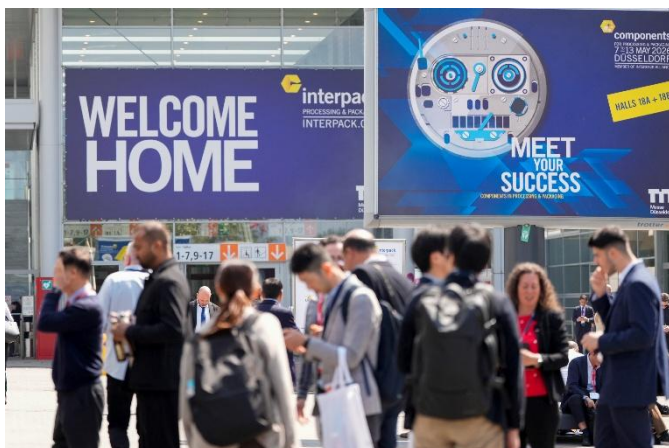


photo: Messe Düsseldorf / Tillmann

業界にとって重要な転換点になると考えられています。メッセ会場では、多くの企業が単独ではなく、システム全体を見据えたアプローチを採用していることが明らかになりました。素材・機械・製造プロセスを一体的に設計・最適化する提案が多く見られ、interpack は新たなプロジェクト創出や投資促進を後押しする場として、その存在感を発揮しました。

スマート化と人材育成

会場では、自動化技術、データ活用、柔軟な生産システムなど、スマートマニュファクチャリングの実用例が数多く紹介されました。素材分野では、実際の現場で機能し、規制にも対応可能な革新的ソリューションが注目を集めました。また、データ連携型の生産システムが進む中で、新たなスキルや人材育成の重要性も強調されました。対面での交流や経験共有、オープンなコミュニケーションが、interpack ならではの価値を生み出していました。

特別企画も充実

展示ブースに加え、多彩な特別企画も来場者の注目を集めました。interpack Spotlight Forum、SAVE FOOD Expert Talks、Women in Packaging、Start-up Zone、Young Talents Day などを通じて、技術革新やサステナビリティだけでなく、多様性、スタートアップ支援、若手人材育成、未来のスキルといったテーマについても幅広い議論が行われました。interpack 2026 が残したものは、単なる「成功したメッセ」という枠を超えています。業界が大きな課題に直面する中で、革新力と協業、そして未来を主体的に形づくろうとする強い意志を世界に示す場となりました。国際性、技術力、そして新たな時代への期待感が融合したメッセとして、多くの来場者に強い印象を残しました。

メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン（MDJ）の活動

日本からご参加の皆さまに、視察の成果を最大限に高めていただくことを目的に、会期 5 日目の 5 月 11 日（月）、**「ジャパン・デー @ interpack 2026」**を開催いたしました。午前中は会場巡回ハ



photo: Messe Düsseldorf Japan

イライトツアーを実施、機械コースでは [Theegarten-Pactec](#)、[Syntegon Technology](#)、[IMA](#)、[KHS](#)、素材コースは [Paptic](#)、[Henkel](#)、[TotalEnergies Corbion](#)、[Sappi Europe](#)（それぞれ訪問順）各社を訪問しました。午後には、ドイツおよび欧州包装業界の最新動向と今後の展望をテーマとした特別セミナー&レセプションを開催しました。セミナーには、[ドイツ機械工業連盟（VDMA）食品・包装機械工業会](#)、[PackIntelX](#)、[Cell2Green](#)、住本充弘様をスピーカーとしてお迎えしました。セミナー終了後は、デュッセルドルフ名物のアルトビールを囲みながら、参加者の皆さま同士で交流を深めていただきました。

ご協力いただいた各出展者の皆さま、セミナーにご登壇いただいたスピーカーの皆さま、そして関心を持ってご参加くださった皆さまに、この場を借りまして心より御礼申し上げます。



photo: Messe Düsseldorf Japan



photo: Messe Düsseldorf / Tillmann

interpack 2029 + components 2029

次回の interpack は2029年に開催予定で、詳細な日程は近日中に発表されます。

interpack + components、ならびに interpack alliance 各展に関するに情報・お問い合わせは、[株式会社メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン](#)、あるいは日本語ホームページ <https://interpack.messe-dus.co.jp/> をご確認ください。

本リリース照会先

Messe Düsseldorf GmbH
Press Team interpack
Cornelia Tautenhahn / Ms.
TautenhahnC@messe-duesseldorf.de
Tel.: +49-211-4560-588

株式会社メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン
担当： 林 杏佳
mdj@messe-dus.co.jp
Tel.: 03-5210-9951

Apostolos Hatzigiannidis / Mr.
HatzigiannidisA@messe-duesseldorf.de
Tel.: +49-211-4560-544

interpack @ [LinkedIn](#) | [YouTube](#) | [Facebook](#) | [Instagram](#)